

1 建物概要		BEE	1.5	A	★★★★★
建物名称	(仮称)京都役行者開発				
延床面積	3,983.19 m ²				
用途	ホテル、 ホテル、	使用CASBEE評価マニユ CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 使用CASBEE評価ソフト CASBEE京都-新築2018(v.1.0)			

2 重点項目への取組度	
キーワード	取組度
1 大切に使う	
2 とともに住まう	
3 自然からつくる	

3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

1 大切に使う	合計点 27 /41
----------------	------------

■長寿命化		合計点 12 /20
◇メンテナンスの容易性		
Q2/ 3.3.1 空調配管の更新性	スコア 3	◇物理的長寿命
Q2/ 3.3.2 給排水管の更新性	スコア 3	Q2/ 2.2.1 躯体材料の耐用年数
Q2/ 3.3.3 電気配線の更新性	スコア 3	標準的な耐用年数が可能な躯体としている。
Q2/ 3.3.4 通信配線の更新性	スコア 3	◇社会的長寿命
Q2/ 3.3.5 設備機器の更新性	スコア 3	Q2/ 1.1.3 パリアフリー計画
(注 上記5項目のスコアの平均が合計点に加算される)		Q2/ 3.1.2 空間の形状・自由さ
構造部材を痛めることなく、設備の更新を行うことが出来る。		壁長さ比率は、一般的な数値を確保しており、改修に伴うプラン変更などにも対応が出来るように計画した。

■省資源		合計点 15 /20
LR2/ 2.1 材料使用量の削減	スコア 2	
LR2/ 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	スコア 3	
LR2/ 2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	スコア 5	
LR2/ 2.6 部材の再利用可能性向上への取組	スコア 5	
GL工法を採用することで、内装設備を改修する際に、設備を取り外すことなく、工事が行えるように配慮した。 またリサイクル材を積極的に採用した。		

◆独自加点項目		合計点 0 /1
----------------	--	----------

LR2/ 2.1 材料使用量の削減	主要構造部が木造躯体である場合で、「持続可能な森林から産出された木材」を使用しており、うち地域産木材を使用している。	対象外
LR2/ 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	主要構造部に使用した「持続可能な森林から産出された木材」のうち、地域産木材を使用している。	対象外
LR2/ 2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	「持続可能な森林から産出された木材」のうち、地域産木材を使用している。	対象外

2 とともに住まう	合計点 29 /42
------------------	------------

■自然とともに住まう		合計点 10 /15	■地域とともに住まう		合計点 10 /15
◇自然を感じられる計画			◇地域環境やコミュニティへの配慮		
Q2/ 1.2.1 広さ感・景観	スコア 4	Q3/ 3.1 地域性への配慮、快適性の向上	スコア 4		
Q3/ 1 生物環境の保全と創出	スコア 3	LR3/ 2.2 温熱環境悪化の改善	スコア 2		
Q3/ 3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア 3	LR3/ 3.3.2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	スコア 4		
宿泊部に坪庭を設けることで、光を取り入れ、広がりを与えた。		建物外部に格子ルーバーを設け、グレアを抑制した。			

■歴史とともに住まう		合計点 8 /10
◇歴史性への配慮		
Q2/ 1.2.3 内装計画	スコア 4	
Q3/ 3.1 地域性への配慮、快適性の向上	スコア 4	
一部建物を保存したまま利用したほか、前の建物を復元した計画とすることで、歴史が継承される建物となるように配慮した。		

◆独自加点項目		合計点 1 /2
----------------	--	----------

Q2/ 1.2.1 広さ感・景観	京都重点項目による加点により、レベル5を超える。	
LR3/ 3.3.2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	格子状ルーバーや簾状スクリーンによりガラス面等の反射光を抑制している、または外壁に反射率の低い自然素材を採用している等の推奨内容の取組みを、1以上実施している。	○

3 自然からつくる	合計点 36 /50
------------------	------------

■自然材料の利用		合計点 10 /15
Q2/ 1.2.3 内装計画	スコア 4	
Q3/ 3.1 地域性への配慮、快適性の向上	スコア 4	
LR2/ 2.5 持続可能な森林から産出された木材	スコア 2	
自然素材を建物内部に積極的に採用し、暖かみのある雰囲気となるように配慮するとともに、しつらえを与えた。		

■自然環境の利用		合計点 23 /30
Q1/ 3.1.1 昼光率	スコア 1	LR1/ 2 自然エネルギー利用
Q1/ 3.1.3 昼光利用設備	スコア 5	LR2/ 1.2.1 雨水利用システム
Q1/ 3.2.1 昼光制御	スコア 5	スコア 4
Q1/ 4.2.2 自然換気性能	スコア 5	スコア 3
外部格子ルーバーにより、自然光を室内に取り込める計画としたほか、自然換気による十分な換気量を確保した。		

◆独自加点項目		合計点 3 /5
----------------	--	----------

LR2/ 2.5 持続可能な森林から産出された木材	「持続可能な森林から産出された木材」のうち、地域産木材を使用している。	○
Q1/ 3.1.3 昼光利用設備	デザインされた格子状ルーバーやライトシェルフ、軒、庇等、推奨内容の昼光利用設備を採用している。	○
Q1/ 3.2.1 昼光制御	デザインされた格子状ルーバーやライトシェルフ、軒、庇等、推奨内容の昼光利用設備を採用している。	○
LR1/ 3 設備システムの高効率化	評価する取組みのうち、何れかの手法が採用されている。(但し、モニメントの計画を除く) 上記の内容に加え、利用量が15MJ/㎡・年以上となる場合。	○

4 低炭素景観の創出に関する評価			
<input checked="" type="checkbox"/> Q1/3.1.3 昼光利用設備	<input checked="" type="checkbox"/> Q1/3.2.1 昼光制御	<input checked="" type="checkbox"/> Q3/1 生物環境の保全と創出	低炭素景観 取組数 4/6項目
<input type="checkbox"/> Q3/3.2 敷地内温熱環境の向上	<input type="checkbox"/> LR3/2.2 温熱環境悪化の改善	<input checked="" type="checkbox"/> LR3/3.3.2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	

5 ライフサイクルCO₂とCO₂削減率			
ライフサイクルCO ₂	143.71	kg-CO ₂ /年㎡	ライフサイクル CO ₂ 削減率 +13.5%
(ライフサイクルCO ₂ 参照値)	166.07	kg-CO ₂ /年㎡	
CO ₂ 削減量	-22.35	kg-CO ₂ /年㎡	

6 ウッドマイレージCO₂とCO₂削減率			
ウッドマイレージCO ₂		kg-CO ₂	ウッドマイレージ CO ₂ 削減率 0%
CO ₂ 削減効果		kg-CO ₂	